

2025年度 きらら園 保育所の自己評価

本年度も、子どもたちの健やかな成長と安心・安全な環境づくりを最優先に、保育園の運営に努めてまいりました。子どもの健やかな育ちを支える重要な役割を果たすとともに、保護者との信頼関係を深めることを心掛け、子育てに関する相談や助言、発達に関するご質問など、保護者の子育ての「パートナー」としての役割を意識した運営を行いました。

評価項目	取り組み状況
1.保育理念	信頼と安全を基盤に、子どもたちの「生きる力」を育むことを目標とします。集団活動を通じて人間形成の基礎を築き、思いやりの心を育てます。知的・心の教育や発達段階に応じた運動を重ね、活発で感受性豊かな子どもを育成します。自然の中で遊び、年間行事を通じて多くの経験を積み、感じる力と達成感を養います。
2.子どもの育ちと保育内容	毎日の生活はもちろん、発表会、運動会や食育などの季節の行事を通じて、保育者と園児、保護者が成長や育ちを共有し、様々な活動を通じて喜びや感動を分かち合うことができました。また、生活の中で一人ひとりの発達に応じた保育の目的や環境設定を行い、個々の発達や支援につながるよう努めてきました。
3.保育者の資質向上	保育者としての資質向上を目的に、定期的な研修を取り入れました。子どもたち一人ひとりの個性や発達段階に応じた適切な支援方法を学び、実践に活かすことで、より質の高い保育を提供できるよう努めました。また、職員間での情報共有や意見交換を通じて、チームとしての連携を深め、保育の質の向上に寄与しました。
4.保護者に対する支援	保護者の皆様が子育てや園生活において抱えるさまざまな課題に対して、丁寧に寄り添いながら支援に努めてまいりました。定期的な面談や相談の場を設けることで、保護者の方々の声を丁寧に伺い、適切なアドバイスや情報提供を行うことを心掛けました。また、子どもたちの生活の状況を共有し、家庭と園が連携して子どもたちの成長を支える環境づくりに努めました。
5.地域や社会との関わり 地域子育て支援	私は地域や社会と積極的に連携し、安心して子育てできる環境づくりに努めました。保育施設体験では、子育てサロン、親子体操、離乳食の支援講座、島小学校との仲よし交流会、中学生の職場体験、保育実習生の受け入れなどこれらの活動を通じて、地域社会の子育て支援の充実に寄与できるよう努めてまいりました。